

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2001-514858(P2001-514858A)

【公表日】平成13年9月18日(2001.9.18)

【出願番号】特願2000-508817(P2000-508817)

【国際特許分類】

C 12 N	15/00	(2006.01)
A 6 1 K	47/48	(2006.01)
C 07 K	19/00	(2006.01)
C 12 N	1/15	(2006.01)
C 12 N	1/19	(2006.01)
C 12 N	1/21	(2006.01)
C 12 P	21/02	(2006.01)
C 12 N	5/10	(2006.01)

【F I】

C 12 N	15/00	
A 6 1 K	47/48	
C 07 K	19/00	
C 12 N	1/15	
C 12 N	1/19	
C 12 N	1/21	
C 12 P	21/02	C
C 12 N	5/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月30日(2005.8.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 (a) アンテナペディアのホメオドメインまたはその機能的変異体を含む第1の領域と、(b) 第1の領域と自然には結合しない第2の領域とを含み、少なくとも第1の領域が非変性である、コンジュゲート。

【請求項2】 第1および第2の領域がジスルフィド結合を介して結合している、請求項1記載のコンジュゲート。

【請求項3】 融合タンパク質の形態にある、請求項1記載のコンジュゲート。

【請求項4】 第2の領域が少なくとも100アミノ酸のタンパク質を含む、前記請求項のいずれか1項に記載のコンジュゲート。

【請求項5】 第2の領域が機能的または調節タンパク質である、請求項4記載のコンジュゲート。

【請求項6】 第2の領域が抗原である、請求項4記載のコンジュゲート。

【請求項7】 第2の領域がDNA結合ドメインである、請求項4記載のコンジュゲート。

【請求項8】 第2の領域がNOIをさらに含む、請求項7記載のコンジュゲート。

【請求項9】 第2の領域がNOIを含む、請求項1または2記載のコンジュゲート。

。

【請求項 10】 前記請求項のいずれか 1 項に記載のコンジュゲートをコードする核酸。

【請求項 11】 プロモーターに作動可能に連結されている請求項 10 記載の核酸を含む発現ベクター。

【請求項 12】 請求項 11 記載の発現ベクターで形質転換された宿主細胞。

【請求項 13】 (i) 宿主細胞内で発現ベクター由来のコンジュゲートの発現を提供する条件下で、請求項 12 記載の宿主細胞を培養する工程と、(ii) 非変性条件下でアフィニティー精製によりコンジュゲートを回収する工程とを含む、請求項 1 から 9 のいずれか 1 項に記載のコンジュゲートの調製方法。

【請求項 14】 コンジュゲートは、固定化基質に結合するアミノ酸テイルを含む、請求項 13 記載の方法。

【請求項 15】 請求項 13 または請求項 14 に記載の方法によって調製された、コンジュゲート。

【請求項 16】 薬学的に受容できるキャリアを組み合わせた、請求項 1 から 9 のいずれか 1 項または請求項 15 に記載のコンジュゲートを含む、薬学的組成物。

【請求項 17】 ワクチンの形態にある、請求項 16 記載の薬学的組成物。

【請求項 18】 癌、遺伝病、および細菌またはウイルス感染の治療または予防のための薬剤の調製における、請求項 1 から 9 のいずれか 1 項または請求項 15 に記載のコンジュゲートの使用。

【請求項 19】 発現機構における使用のための、請求項 1 から 9 のいずれか 1 項または請求項 15 に記載のコンジュゲート。

【請求項 20】 第 2 の領域がヒストンタンパク質である請求項 7 に記載のコンジュゲート。